

# 令和5年度 東大探訪



令和5年8月7日（月）、東京大学本郷キャンパスにて、本校中学3年生・高校1年生・2年生（希望者）計約340名で「東大探訪」が開催されました。4年ぶりに原則全員が参加する形で行いました。初めて中学3年生が参加し、また、生徒の委員会を中心に運営したのも初の試みでした。

「構内見学」「座談会」「石井和之教授・本校OBの東大生の講話（高校生のみ）」の3部構成で行いました。

## 中学生

中学生は、班ごとに集合場所に集合し、委員が引率する形となりましたが、予想していたよりも移動に時間がかかってしまい、先生方に引率していただくかたちでなんとか点呼時刻に間に合わせることができました。

## 構内見学

構内見学では、学年を4班に分け、東大のもつ広大な敷地内の建造物を、東大生の先輩に案内していただきました。構内には歴史的な建物だけでなく、学生が利用するためのコンビニなど、学生が大学生活をしやすいように設備が整えられていました。また、構内の博物館は、無料で豊富な資料を見ることができ、短い時間ではありましたが、多くの発見があり、好奇心を掻き立てられました。食堂では、先輩を囲んでの会食ができました。食堂のメニューは豊富で、中にはハラルフードなどもあり、大学を利用する様々な人への配慮を感じました。B組後半を担当して下さった先輩は、普段は別のキャンパスを利用しているようで、「ここは豪華な食堂だ」と少し驚いておられました。その後地質標本などが展示されている場所にも行き、ワクワクした表情の中学生が多くいました。

## 座談会

座談会では、構内見学と同様の班で行いました。東大の授業についてや一週間の授業予定など、詳細に聞けました。開始時は中学生が皆聞き入っていたため、静かになってしまい、少し先輩は話しづらそうでした。けれども、ユーモアを交えた面白い話をするなど堅苦しくない雰囲気を作ってくださり、最後にはとてもフレンドリーな会になりました。先輩にほぼ全員が質問をすることができ、各自知りたいことを聞けたことで自分の将来の大学生像についてイメージできた生徒もいたと思います。

# 高校生



## 講話

11組から14組は、東京大学生産科学研究所で教授をされている本校OB（元サッカー部）の石井和之教授の講話を拝聴しました。石井教授は、生産科学の研究の他に、入学後1年間休学し、自分の過ごしたいように過ごす「FLY プログラム」といった新しい制度の構築などにも携わっていらっし

やいます。答えの決まったものを座学で学んでいく高校までの学習に対し、「問題を見つける探究の必要性」「座学と探究の両方の重要性」「人の優秀さの定義は時代によって変わり、計算のスピード等の技能から物事を生み出す創造力へと変わっていること」「これから勉強し進路を決めていく上で大切なこと」などを教えてくださいました。また、ご自身の研究内容については、実験を通して説明してくださり、楽しく学ぶことができました。中でも、石井教授が放射性物質を吸着する布を、様々な困難をアイデアや努力によって乗り越えながら開発し、実際に社会で役立てられているという話からは、本校の校是の一つで、ご講演中に話された「堅忍力行」の精神が感じられました。

15組から16組は、東大生の講話を聴きました。四人の先輩方がそれぞれ文理選択についてのご自身の見解を述べたうえでアドバイスをしてくださいました。また、大学に入ってからどんな学問・研究に携わっているか、どんな生活を送っているか、どんなプロジェクトに参加しているかなど普段の活動についても教えていただきました。

## 座談会



本校OBの東大生の先輩方17人と他校出身の4人の方々にもご協力頂き、約20名1グループで座談会を行いました。高校時代の生活や思い出、進路決定の方法、勉強法、東大の特徴、大学での生活など、様々な内容についてお話してくださいました。生徒からの絶え間ない質問にも、真摯に笑顔で答えてくださいました。

新たな角度から東大を知り、東大を身近に感じられたのと同時に、先輩方の姿勢を感じることができました。

## 構内見学



東大生の方に案内して頂きながら、本郷キャンパス構内を見学しました。事前指導で、校長先生が話された「内田ゴシック」の建造物を、間近で見ることができました。赤門は耐震検査のため閉門していましたが、美しく荘厳な雰囲気が感じられました。生徒は購買でお土産を買ったり、施設を見学したり、安田講堂や赤門の前で記念撮影をしたりと、思い思いの時間を過ごしました。



現地解散の後は、学食での食事や、先輩に聞いた学外の飲食店での食事、農学部キャンパスにある野球場見学などさらに東大構内の見学、先輩におすすめ頂いたスポットの観光など、時間を有効に活用することが出来ました。

最後になりましたが、今回の東大探訪は、多くの方々のご協力のおかげで、4年ぶりに通常開催することができました。石井教授をはじめとし、講話・座談会でお話しして下さった東大生の皆様、そして本企画に携わってくださった全ての皆様に感謝申し上げます。本当にありがとうございました。  
(令和5年度水戸第一高等学校・附属中学校東大探訪委員会)

